著者略歴

明治四十年三月十五日埼玉県南埼玉郡栢間村大字上栢間に出生飯塚馬次郎四男、大正十五年三月埼玉県師範学校本科第一部卒業、昭和六年一月小沢ふさと結婚昭和六年三月埼玉県師範学校専攻科卒業、本科一部卒業以来埼玉県下小中学校教員を歴任、その間二男二女を挙ぐ。昭和二十二年四月一日栢間中学校長、昭和四十一年四月一日上尾市立上平小学校長を最後に退職。

現住所　埼玉県南埼玉郡菖蒲町大字上栢間三四三八。

短歌会「まひる野」会員。

昭和四十四年四月五日　印刷
昭和四十四年四月十日　発行

田園の一年

定価九〇〇円

著者　小澤朝一
埼玉県南埼玉郡菖蒲町大字上栢間

印刷者　磯貝兌雄

印刷・足柄印刷（株）

田園の一年

小澤朝一

著者とその妻近影

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

まえがき

小学校長を退職して一年九カ月齢六十一になろうとして昭和四十三年の新春を迎えました。日記は学生時代から今日まで書いて来ましたが、昨年は更に短歌を作ってその日の自然や生活感情を私なりに表現しようと思い毎日歌を作っていきました。

歌は心の表現であり、生活の表現でありますので毎日歌を作ることによって自己を成長させることができると信じます。季節を感じ自然を愛し生物を愛護し家族をはじめ人に接するに愛情を以て、おのが心情を率直に詠み出すことによって、ゆたかな人間性を自らに育てていこうと心掛けています。

はじめて作歌を続けたもので歌にならないものや拙劣な歌が多いのですが、読み返してみると私が生れ育くまれた郷土の自然や一年の推移が改めて見直されるのを覚えます。私の生活が想起されます。歌は真実を詠むものだけに愧づかしくもあります。

還暦を境に生活が変化したことを記念にしたいと思いまして、大へん厚かましい次第ですが出版することにしました。題して「田園の一年」、歌集としては愧づかしいものですが敢て出版しました。ご指導いただければ幸いであります。

終りに私は昨年八月よりまひる野会に入会、同歌会に出席したり、毎日歌壇に投稿したりして窪田一章郎先生のご指導を仰いでおりますことを附記いたします。

昭和四十四年一月

小澤朝一

歌集

田園の一年

（昭和四十三年）

田園の一年

目次

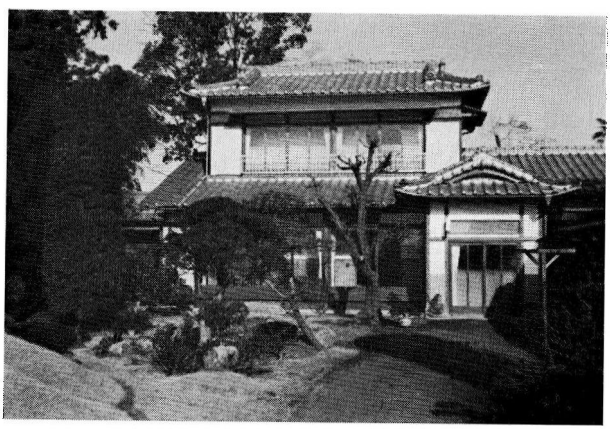
此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

まえがき
一月の歌　一二五首……一三
二月の歌　七七……四一
三月の歌　七一……五九
四月の歌　八三……七七
五月の歌　六六……九七
六月の歌　六三……一一三
七月の歌　六二……一二九
八月の歌　七一……一四五
九月の歌

十月の歌　八〇　……一七九
十一月の歌　六九　……一九七
十二月の歌　七九　……二一三
計　九一五首
歌に出る動物　……二三一
歌に出る植物　……二三二
歌に詠み出された親族　……二三三
わが家の宅地平面図　……二三四

一

月



著者の家

一月一日　晴

元日にむかしは夙に起きにしが子にひかされてともに朝寝(い)ぬ

日は高く昇りにけりな閨(ねや)のうち明かるくなりて雞(とり)の声する

いたづらに臥して元日送らばやわれ起出でて戸を開け放つ

あら玉の年立ちかへる朝(あし)なり服改めて神に詣でぬ

年賀状今年は減(へ)りて百たらず世に埋れてゆくぞさびしき

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.